



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.05

～平成 24 年 6 月に出前講座・現場見学会を実施しました～



◆出前講座・現場見学会

今回は、昨年から実施している出前講座と現場見学会について、今年も近隣の 2 校の小学生を対象に行いましたのでご報告します。

平成 24 年 6 月 15 日(金)に市立東淡路小学校の 3 年生児童(51 名)と、6 月 27 日(水)には市立西淡路小学校の 3 年生児童(41 名)を対象に、次の内容にて出前講座・現場見学会を行いました。

○出前講座・現場見学会の目的

- ・「まちづくり」に対する関心を促し、事業の目的・効果などについての理解促進
- ・事業に対する親近感の醸成
- ・工事車両への注意喚起や踏切の正しい横断方法など安全啓発

○出前講座・現場見学会の実施内容

講座当日は、2 時限目～4 時限目を使って実施しました。

2 時限目には小学校の教室をお借りして、

「淡路駅周辺のまちづくり」や「高架工事の概要」などについて説明するとともに、「踏切横断時の安全啓発」などを行いました。

3 時限目と 4 時限目には、実際に工事現場へ行き、出来上がっている高架構造物(地上約 25m、7 階相当)の上に登ってもらいました。また、工事に使用する建設機械(ブルドーザ、バックホウ、ダンプトラック)の説明を行った後、運転席に座ってもらいました。児童達は、工事に関するクイズに答えたりして高架構造物の大きさに驚きながらも、笑顔があふれていました。

実際の工事現場を見学し、事業を身近に感じてくれたのではないかと考えています。

○出前講座・現場見学会のアンケート

今回参加していただきました児童を対象に、出前講座・現場見学会に関するアンケートにご協力いただいております。

アンケートの集計結果は次回ご報告する予定です。

出前講座の様子



東淡路小学校



西淡路小学校

現場見学会の様子





発行 平成 24 年 8 月

発行者:大阪市建設局

淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.05

～平成 24 年 6 月に出前講座・現場見学会を実施しました～



◆淡路駅付近の連続立体交差事業(連立事業)の紹介(その4)

今回は、柴島駅周辺で行われている工事について説明します。

○線路北側に仮設道路を整備

柴島駅周辺では、現在の線路の横に高架構造物をつくる「別線(べっせん)工法」と、現在の線路の横に仮の線路を設け、それにより空いたスペースに高架構造物をつくる「仮線(かりせん)工法」を組み合わせて高架構造物をつくっていきます。※

これらにより、現在の線路北側の道路に高架構造物をつくるため、さらに北側へ仮設道路を整備する工事を行っています。

※工法については「事業だより Vol.02(H24.01)～出前講座・現場見学会を実施しました～」を参照してください。

工事現場の周辺は、道路の形態が変わっているところがありますので、注意してご通行ください。

○高架化された将来の柴島駅

現在は、踏切を通らなければ、線路を越えて南北の通行ができません。連続立体交差事業が完了し、線路と駅が高架化されることにより、右のイメージ図のように高架下のスペースを通行することができるようになります。

高架工事は、淡路駅付近から順次進めてきております。柴島駅周辺でも、線路の北側に仮設道路が整備されると、いよいよ高架工事が始まります。

将来のイメージ図



◆現場見学会の様子

最後に、本稿をご覧いただいている方々に、現場見学会の様子が伝わるよう当日の写真を掲載します。現場見学会に参加していただいた児童の、熱心な様子がお分かりいただけるかと思えます。

